

令和3年度第1回 山県市立小学校及び中学校適正規模等検討委員会議事録（要旨）

日時

令和4年2月9日（水） 午後3時00分～午後3時55分

場所

山県市役所3階大会議室

出席者

委員	早川 三根夫	学識経験者
	山崎 通	市議会議員
	高屋 重義	市自治会連合会が推薦する者
	高井 逸夫	市自治会連合会が推薦する者
	藤根 圓六	市自治会連合会が推薦する者
	神原 義典	市PTA連合会が推薦する者
	上野 泰英	市PTA連合会が推薦する者
	岩田 陽歩	市立保育園長会が推薦する者
	佐藤 千秋	市立保育園長会が推薦する者
	奥田 真也	市立保育園長会が推薦する者
	高橋 広美	市立小中学校長会が推薦する者
	花村 伸二	市立小中学校長会が推薦する者
	岡崎 佳代子	市立小中学校長会が推薦する者
事務局	教育長	服部 和也
	学校教育課長	日置 智夫
	学校教育課課長補佐	渡瀬 和則

欠席者

委員	松井 元成	市PTA連合会が推薦する者
----	-------	---------------

日程

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 山県市教育委員会教育長あいさつ及び趣旨説明
- 4 委員長及び副委員長選出
- 5 議事
 - (1) 諮問伝達について
 - (2) 山県市の教育の現状及び児童生徒数の推移について

(3) 学校の規模に関するアンケート結果について

(4) その他

6 次回の委員会予定

日時 令和4年3月24日(木) 午後2時～午後3時30分(予定)

場所 山県市役所3階 大会議室

7 閉会

会議の概要

別添のとおり

1 開会

午後3時00分開会

○事務局が山県市立小学校及び中学校適正規模等検討委員会設置要綱及び山県市立小学校及び中学校適正規模等検討委員会の公開等の基準について説明。(略)

2 委嘱状交付

(略)

3 山県市教育委員会教育長あいさつ及び趣旨説明

○教育長

- ・この検討委員会は、この先10年、20年の山県の教育の方向性を定める重要な会議である。
- ・平成27年に文部科学省が出した「学校適正規模に関する手引」の作成に携わった、元岐阜市教育長の早川三根夫先生に委員をお願いした。
- ・市教育委員会は平成18年、今後の市の教育のあり方を今回と同様に検討委員会に諮問し、平成19年に答申をいただいた。その答申を元に、適正規模基本方針と推進計画を策定した。その基本方針は、「小学校は、複式学級がないように統合を行う」「中学校は、過小規模校を解消するために統合を行う」ということであった。
- ・当時は、「子どもたちの社会性や規範意識は、小さい学校では十分に育たないのではないか」ということが論点となっていた。結果として、美山地域の3つの小学校が統合し美山小学校ができ、学級数や先生の人数が増え、いい教育環境ができたと思っている。しかし、ほかにも複式学級のある小学校はあり、中学校も小さくなってきている。
- ・今回の諮問までの15年間で、学力やいじめ、学校に適應できない子どもなど、問題点が見えるようになってきた。これらを解決するひとつの方法として、地域の方を交えた学校運営協議会をつくった。また、法改正により、義務教育学校や小中一貫校など、新しいかたちの学校ができるようになった。
- ・平成19年当時は、市の子どもの人数は1学年約300人いたが、複式学級や小規模な中学校があったので、検討委員会を設置した。15年たった今は、1学年約200人になっている。この先5年たつと1学年約100人になり、いよいよ極小といえる状況が見えてきたので、再検討するときがきた。
- ・来年度から、35人学級や小学校教科担任制が始まり、また、コロナによってオンライン学習が一気に進んだ。さらに、個別最適化学習、地域部活動など、教育が変わるなかで、ひとりひとりの学習保障と教育の質をどう担保するか、ということ論点にし、皆さんから意見をいただき方向性を定めたい。

4 委員長及び副委員長選出

・自己紹介 (略)

・委員長：早川三根夫委員、副委員長：山崎通委員

○委員長 山県の将来に関わる大事な会議だと思っている。皆さんの意見をたくさん伺いながら、方向性を出していければと思う。

○副委員長 将来の学校のあり方について、真剣に取り組まなければならない。会長を中心に、皆さんでがんばっていききたい。

5 議事

(1) 諮問伝達について

(略)

(2) 山県市の教育の現状及び児童生徒数の推移について

○事務局が説明。(略)

(3) 学校の規模に関するアンケート結果について

○事務局が説明。(略)

(4) その他

○委員長 本格的な協議は第2回以降にしたいが、今日のところで質問や意見があれば伺いたい。

○委員 資料の字が小さく見づらいので、大きくしてほしい。

○委員長 大事な指摘なので、もう少し大きな字で願います。

○事務局 承知した。

○委員 ・教育委員会には、魅力ある学校づくりに取り組んでほしい。
・山県市の教育ICT化が、全国レベルでどれぐらいなのか知りたい。
・統合ということになると、子どものいる人といない人とではとらえ方が違うので、地域とのワークショップを行わないといけない。
・廃校後の活用案を作っておかないと、地域の合意はとれない。

○委員長 重要な論点整理をしていただいた。事務局から何か説明はあるか。

○事務局 ・教育ICT化に詳しい人から山県市は進んでいると聞くが、それがどのレベルなのかということはわからない。今後、資料を提示できるようにしたい。

・廃校の有効利用については、他課との連携も必要になる。

○委員長 一つ目のICTの活用について、二つ目の地域との合意をどう形成するのか、三つ目のまちづくりの観点も軽視できないのではないか、四つ目の廃校後の施設利用について、というようなことは重要なところであるので、論点整理に入れる必要がある。

- 委員 事務局から説明があった小学校ごとの児童数の推移の資料を配布してほしい。
- 事務局 承知した。
- 委員長 次回までに用意していただけるので、資料提供の要望がほかにもあれば。
- 委員 アンケート結果だけではわかりにくいので、小規模校のメリット、デメリットがわかるといい。
- 委員 義務教育学校や小中一貫校のメリット、デメリットがわかる資料もほしい。
- 委員長 短い時間だったが、方向性を示すような意見もいただけてありがたい。資料は持ち帰っていただき、第2回の会議で協議を深めたい。

6 次回の委員会予定

(略)

7 閉会

午後3時55分閉会

上記議事録(要旨)は正当であることを認めます。

山県市立小学校及び中学校適正規模等検討委員会委員長 早川 三根夫